

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	量子・物質工学特別輪講第一		
英文授業科目名	Advanced Seminar in Applied Physics and Chemistry 1		
開講年度	2009年度	開講年次	
開講学期	通年	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法	演習	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-量子・物質工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学専攻		
担当教官名	各指導教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>専門分野の第一線において研究を遂行していくためには当該分野について十分な知識と深い洞察力を備えていなければならない。また自らの研究成果とその価値を外部に対し正確に伝える上で発表・討論の能力も不可欠である。本特別輪講では、それぞれの専門分野について各研究指導教員の指導を受けながら、学術論文の紹介や専門書の読み合わせ等を行う。研究を展開するためのヒントや動機付けを得るとともに、各種文献の読解力や発表・討論能力を養い、専門分野についての理解を深め広い視野を身に付けることを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
各指導教員の指定による

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
各指導教員の指定による

【教科書等】
各指導教員の指定による

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

それぞれの所属研究室あるいは複数の研究室グループで、セミナー形式で以下のような研究活動や学習活動を行う。

例)

- 1) 研究分野に関連する学术论文の紹介。
- 2) 専門分野の基礎を修得するための教科書や参考書の読み合せ。
具体的な実施方法は各指導教員により指示される。

なお本科目は1年次から修了年次にわたって履修すべき必修科目である。

意義のある討論をするためには、論文紹介にしても教科書輪読にしても、指定された資料をよく読んでおく必要がある。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

発表等の内容、理解度、質問、討論を通じた当該学生の達成度を勘案して評価する。十分な達成度に対して合格を与える。

【オフィスアワー：授業相談】

各指導教員の指定による

【学生へのメッセージ】

研究者・技術者としての将来の基礎をつくる科目の1つである。全力で取り組むことを望む。

【その他】

特になし